

Special Guest



本郷 和人氏

東京大学史料編纂所教授



RARA

RITSUMEIKAN ADVANCED
RESEARCH ACADEMY



小川 さやか

RARAフェロー
先端総合学術研究科 教授

第1回

立命館先進研究アカデミー(RARA)

主催シンポジウム

地球危機の時代に、 どう挑むべきか——

異分野をつなぐ「総合知」を目指して

2024年1月25日(木)

14:00~16:00

Moderator



岡田 志麻

RARAフェロー
理工学部教授

オンライン配信

オンライン視聴申し込み



<https://rararits01.peatix.com>



中川 毅

RARAフェロー
総合科学技術研究機構 教授



RARA
RITSUMEIKAN ADVANCED
RESEARCH ACADEMY

立命館先進研究アカデミー(RARA)設立の経緯

立命館大学では、2030年に向けた立命館の学園ビジョンR2030「挑戦をもっと自由に」のもと、次世代研究大学の実現に向けて歩みを進めています。この大志を現実のものとし、未来社会に新しい価値をもたらすべく、2021年、立命館大学のさらなる研究高度化を牽引する仕

掛けとしてRARAを設立しました。

RARAは博士後期課程から本大学の中核研究者にいたるまで、それぞれのキャリアステージに合わせた重点的かつ、オーダーメイドな支援を特徴としており、そのフロントランナーとなる「RARAフェロー」の教授陣を任命、重点

的な研究環境の整備を図っています。

これまで16名のRARAフェローが未来を切り開く先進的研究者として、「志」「共創」「変革」「信頼」という4つの行動指針のもと、学内外の多様な研究者を繋ぐNodes(結合点)となるべく、研究活動と成果発信を進めています。

RARA初の主催シンポジウム、「総合知」で未来を切り拓く

このたび、RARAにおける活動で得られた研究成果の発信の一環として第1回となるシンポジウムを2024年1月25日木曜日に開催します。

本シンポジウムでは、歴史学者として知られる東京大学史料編纂所の本郷

和人教授をゲストに招き、RARAフェローとともに時空と領域を超越し、わたしたちを取り巻く「危機」について縦横無尽に洞察します。

RARAが取り組む「総合知」の新たな挑戦として、気候変動から国内外の

課題、人々の心のあり方まで、RARAが「知の結節点」となり、本郷教授とともに過去と未来を結びつけ、学際的かつ深遠なアイデアで「危機」に対峙します。



Special Guest

本郷 和人氏
東京大学史料編纂所 教授

プロフィール

1960年、東京都生まれ。東京大学史料編纂所教授。東京大学・同大学院で石井進氏・五味文彦氏に師事。専攻は日本中世政治史、古文書学。同史料編纂所で『大日本史料』第五編の編纂を担当するほか、『吾妻鑑』の現代語訳(共訳)にも取り組んでいる。昔から愛好していた歴史的人物を科学的な脈絡の中で捉えなおす「新しい人物史」の構築にも挑む。



小川 さやか
先端総合学術研究科 教授

テーマ

マルチモーダルな
プラットフォームエスノグラフィの構築

活動内容・ビジョン

人類学者として、多様な人々の暮らしに深く関わり理解した内容を理論的に考察したマルチモーダル(多感覚的)なエスノグラフィ(民族誌)を基盤とし、異分野の研究者や実務家らとの討論・協働を経て得たアイデアを実際の社会課題に活用していくプラットフォームの構築を目指しています。



中川 毅
総合科学技術研究機構 教授

テーマ

地質年代の「世界標準ものさし」の品質向上と、気候変動の履歴の復元—水月湖年縞に含まれる花粉の化石の同位体比測定—

活動内容・ビジョン

長い年月の間に湖の底などに堆積した層が描く特徴的な縞模様が示す、年代の標準ものさし「年縞」の精度を向上させ、過去の気候変動5万年史を解き明かすプロジェクトを進めています。地質学と考古学の未来のため、フェロー就任後、たくさんのサンプルを分析しています。

オンライン視聴
申し込み



<https://rararits01.peatix.com>